

会議録

起案日：令和3年11月12日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件名	令和3年度 第1回ホール事業推進会議
日時	令和3年10月22日(金) 19:30 ~ 21:00
場所	春日住民センター 大会議室
出席者	[委員] 角悟会長、荻野直貴副会長、安達三紀子委員、田邊利典委員、中澤正樹委員、梅谷浩子委員、中西太一委員、吉見順子委員 [事務局] まちづくり部長 近藤紀子(冒頭あいさつのみ) 文化・スポーツ課長 宮野真理、芸術文化係長 岡本渡
<p>【会議要録】</p> <p>1 開会 〇〇課長 ※〇〇委員の後任として〇〇委員が就任となったため、〇〇部長から委嘱書を手交。</p> <p>2 あいさつ 〇〇会長</p> <p>3 報告事項 ① 令和2年度事業報告及び令和3年度事業進捗状況 会議資料に基づき説明(事務局：文化・スポーツ課 〇〇)</p> <p>【〇〇会長】 ホール事業は開催してもどのくらいお客さんに来ていただけるか読みにくいところがありますね。神戸市混声合唱団は150名ほどの参加で、もっと入っても良いのかなと思います。コロナの影響があったのかもしれませんが。</p> <p>【事務局】 チケット販売時期がコロナ感染状況の悪化時期と重なっていたことも影響があったかもしれません。</p> <p>【〇〇委員】 前日の多川響子さんのコンサートでは満席に近い状況です。これは、多川氏のご家族による販売努力もあったかと思います。私も音楽協会に所属しており、神戸市混声合唱団のPRを行っていたのですが、合唱をする人は、歌うことは好きだが、他人の歌を聴くことにあまり興味を示さないことが多く、その意識を変えなければと思っています。</p> <p>【〇〇委員】 ブラックボトムブラスバンド公演ですが、5回目を迎えられ、中学校の吹奏楽部と共演されているということで、ワークショップにも取り組まれているということで、子供達にとっては貴重な機会になっていると思います。 ただ、ジャンルはジャズ系ということで、中学生が行っている吹奏楽は、オーケストラ的な感じのものなので、そういった要素も取り入れるものができれば、また違った効果があるのではないかと思います。 ブラックボトムさんの公演は楽しいコンサートですので、開催できたことは非常に良かったと思います。</p> <p>【〇〇会長】 吹奏楽やコーラスが練習できない状況の中で、よくこれだけの事業を実施できたなと思います。</p> <p>【〇〇委員】</p>	

ライブピアDEクリスマスやブラックボトムさんの公演は回数を重ねておられます。大型鑑賞公演のH Z E T T R I Oライブも今回で4回目となります。回数については、何か基準のようなものがあるのですか。

【事務局】

ライブピアDEクリスマスは、合併前からの恒例行事となっており、これは今後も継続していきたいと考えています。他の公演については、特に回数を何回までというような取り決めはございません。恒例化した行事や丹波市出身の方の公演など、それぞれの公演のバックグラウンドが異なっていますので、公演ごとに継続するかどうかを都度検討します。その際にはホール事業推進会議での皆様からの意見を反映していけたらと考えています。

【〇〇委員】

同じアーティストさんであれば、定着しているのです、お客さんも見込め、安心感があると思いますが、同じ内容となることが多く、新たなジャンルを開拓していくといったことも大切だと思いますので、検討いただけたらと思います。

【〇〇会長】

〇〇副会長、何かございませんか。

【〇〇副会長】

令和2年度はアマチュアアーティスト育成支援事業が中止となったのですが、今年度は各フェスタを開催すべく進めています。8月にはバンドフェスタを開催したのですが、緊急事態宣言下での開催となってしまったので、無観客・ライブ配信という形で開催しました。11月以降はピアノ、ダンス、和太鼓フェスタの開催を控えており、是非とも成功に向けて取り組んでいきたいと思っています。

4 協議事項

① 令和4年度事業計画（案）

会議資料に基づき説明（事務局：文化・スポーツ課 〇〇）

【〇〇会長】

ただいま令和4年度の事業計画について説明がありました。どなたからでも結構ですのでご意見をお願いいたします。

【〇〇委員】

大型鑑賞公演の「岡本知高」さん、「矢井田瞳」さん、集客が難しいという印象を持っております。山崎バナラさんの公演は加東市で開催されたのを鑑賞したのですが、非常に良かったです。ただ、加東市では1,500円だったので、料金についても検討いただければと思います。

堀江トリオさんについては、具体的な計画としてコンタクトをとられているのですか。

【事務局】

計画段階ですので、まだコンタクトはとっていません。出演料や日程などについては直接やりとりすることになりますが、〇〇委員のほうで伝手があるのだしたら、計画に上がっているということを先方に伝えていただけたらと思います。予算検討段階ですので、改めて調整させてください。

【〇〇委員】

伝統芸能についてなんですが、能・狂言についても何か取り組みができないかと思います。能については、上田敦史さんが頑張って取り組んでおられますが、能は少し難しいので、狂言ならば小学生にも馴染みやすいのかなと感じています。上田さんのような取り組みを後押しする意味でも、伝統芸能である能・狂言の取り組みについて検討してもらえればと思います。

それと、家族とも話していたのですが、「マジックショー」のようなエンターテインメント性のあるものも観てみたいと思います。

また、過去に公演された「歌旅座」と似ているのですが、「東京大衆歌謡楽団」という3人グループで、昭和歌謡メインのステージです。高齢者の方に喜ばれる内容となるかと思いますので、参考にしてください。

【事務局】

ありがとうございます。今回挙げている岡本知高さんや矢井田瞳さんは集客が難しいと思われま

すか。

【〇〇委員】

男性なのに女性のパートで非常にすごい声量なので素晴らしいと思うのですが、個性が強く、幅広い集客は難しいのかなと感じます。また、矢井田さんは私たちの世代なので、言葉は悪いですが、過去の人かなという気はします。矢井田さんは大阪出身の人なので、固定ファンは多いと思いますが。

その他、ご紹介させていただきたいのが、アコーディオンを弾かれる、加藤かなこさんという方がおられます。ライブピアでは広すぎるかなという気はしますが、パーカッションやバイオリンでのトリオで活動されており、テクニックは凄いです、一度動画をご覧ください。

それと、タンバリンの田嶋隆さん。200人くらいのホールで聞いたことがあるのですが、500人規模ではきついかもしれませんが、おもしろい内容でした。

【〇〇会長】

他にございませんか。

【〇〇副会長】

新型コロナウイルスの影響ですが、ホールの座席制限について、これまで50%以下となっていました。緊急事態宣言が空けたことにより、100%に戻ることの見通しはどうか。

【事務局】

今現在のルールでは、観客が大声を出すことが想定されていない催物であれば、100%の座席使用が可能です。

しかしながら、丹波市でのホール事業については、今後コロナウイルスの感染状況が悪化するかもしれないことを想定し、今年度については、50%定員で座席を販売しております。

また、これまでコロナ禍で開催してきた公演で、座席制限せずに開催したこともあったのですが、間隔を空けずに着席することに抵抗を感じておられるお客さんの声もありました。感染者数は減っても、感染対策の意識は強く持たれていると感じています。

【〇〇会長】

伝統芸能文化公演について、落語や人形浄瑠璃を計画されています。丹波文化団体協議会でも、伝統芸能の体験をやってみたいという意見があるのですが、コロナ禍のため、伝統芸能の鑑賞を1月22日に丹波の森公苑で計画しています。伝統芸能の鑑賞ということなので、踊りになるのかなと思います。

【〇〇委員】

スタインウェイピアノのオーバーホールをされているということで、今後、本格的なピアニストによる公演の予定はあるのですか。

【事務局】

当初は予定していなかったのですが、大きなお金をかけて、ホールの顔であるピアノが新品同様の状態に戻ってきますので、完成披露を兼ねたピアノをメインにしたコンサートができればと思い、検討している段階です。これはという方がおられましたら情報提供をお願いいたします。

【〇〇会長】

〇〇委員、いかがですか。

【〇〇委員】

やはり管弦楽、オーケストラが聴きたいなと思います。多川響子さんのコンサートはハーフでしたがオーケストラを聴く機会が欲しいなと思います。

【〇〇委員】

丹波の森公苑で、今後、第九のコンサートを行います。シューベルティアードのコンサートでも管弦楽団のコンサートを開催するのですが、今回はいつもよりも売れ行きが好調です。演奏する曲にもよるかもしれないのですが、クラシックへのニーズがあるのかなと感じます。

【事務局】

本日お示した来年度のホール事業については、特に大型鑑賞公演の内容については検討段階で

ございます。本日お聞かせいただいたとおり、管弦楽団や田嶋隆さんなど幅広いジャンルを選択肢にして、今後検討を進めてまいります。

【〇〇委員】

管弦楽団に依頼するのであれば、曲目を演者に任せるのではなく、主催者側から提案してもいいと思います。映画音楽やゲーム音楽などが曲目にあれば、普段クラシックや管弦楽に馴染んでいない方にも興味を持ってもらえるのではないかと思います。

【〇〇委員】

映画音楽は皆さん好きだし、身近な音楽を生のおケストラで聴くことは非常に貴重な機会となると思います。

【〇〇会長】

〇〇委員さん、いかがですか。

【〇〇委員】

ホール事業の多くは、ライフピアいちじままでの開催となっているようですが、そのような取り決めがあるのでしょうか。

【事務局】

ホールは、春日文化ホールとライフピアいちじまホールの2つがあり、コンサートなどの市主催ホール事業はライフピアをメインに実施しています。春日文化ホールは立地条件や交通アクセスの良さもあることから、市民の皆さんに幅広く活用していただいています。

ホールによって使用方法を限定しているものではなく、各ホールの特性を活かした使用をしていくこととしており、ホールの自主事業はライフピアをメイン会場としています。

【〇〇委員】

交通の面では、やはり春日のほうが市島よりもアクセスが良いので、春日文化ホールでも計画していただければと思います。

催物の内容ですが、高校生による合唱コンクールや、ダンス甲子園など、若い世代が集い、楽しんでいるような催物も企画できれば良いのかなと思います。自分だけ楽しむのではなく、集まって皆で一緒になって楽しむような機会を身近に作れたらと思います。

【〇〇委員】

クラシックも良いのですが、お笑いライブのようなエンターテインメントも見てみたいと思います。こういう状況だからこそ、単純に笑えるものがないかなと思います。

過去に、吉本興業との共催でのライブも開催されているので、あのような催物をしていただけたらと思います。

【〇〇会長】

お笑いでいえば、個人的に落語が好きなのですが、大阪の繁昌亭へ落語を見に行きました。落語も伝統芸能の一つではあると思うので、そういったジャンルもまた検討いただければと思います。

5 その他

・「丹波市ならではのホール運営体制」の構築に向けた検討について

※説明内容要旨

現在、丹波市のホール運営は、市直営により自主事業の企画運営及び貸館業務を、ボランティアスタッフ ZERO-IV に協力いただきながら実施している。

一方、ホール運営には高い専門性が求められており、他市のホールでは、専門能力を持った民間事業者に運営を外部委託しているところもある。そんな中で、丹波市のホールを今後も安定して運営していくための体制について現在のように直営のままでいくのか、それとも指定管理などの外部運営を模索していくのか、検討を始めているところです。

現時点では、まだお示しできるような資料はありませんが、検討を進めていく過程でホール事業推進会議にて委員の皆様からもご意見を伺っていきたいと考えています。

【〇〇会長】

少し時間をとって、皆様のご意見をいただきたいと思います。

【〇〇副会長】

先ほど課長から、前回のホール事業推進会議で私が申し上げたホール運営に関する意見に対してお話いただきました。

今回お伺いしたいのが、この会議がこの時期になっているのは、来年度の予算編成時期であることから、委員の意見を踏まえた来年度の事業計画であると理解をしています。ただ、前回開催の令和2年度の会議では、本来は本年度の5月ごろに1回目を開催する予定であったと思うのですが、この時期になったことについて何か理由があったのか。コロナ禍での事業延期や中止などの事業進捗についても、この会議で共有すべき案件ではないかと思います。

それと、先ほどの事業計画において、前回で出された意見の内、堀江トリオさんについては計画の中に盛り込んでいただいています。〇〇委員さんから出されたピアニストの「清塚さん」は、検証いただいた結果について教えていただきたい。

次に、映像を活用した広報についてですが、前回の会議の中でも、映像配信についても積極的に行うこととなっていますが、映像の制作は業者委託としているのでしょうか。

それと、運営のあり方についてなんですが、ホール運営のあり方について、しっかりと調査研究して答えを出すということを示されていたのですが、この話は進んでいるのか。この案件は、時間がかかるものであり、今すぐということではないので、次回以降の会議でも良いのかなと思います。

文化芸術推進基本計画では、A2事業の拡充や子育て世代を対象としたホール事業の充実していることと示されています。計画は10年計画ですので、進捗管理を行っていただき、ホール事業の足元をしっかりと固めていただきたい。

スタッフの後継者や職員の人材育成についても計画には示されているのですが、具体的にどのような取り組みをされているのか。オペレーター養成講座は、今年度は実施されず、代わりに、最初の一步を踏み出してもらおうための中高生を対象とした一回限りの講座を開催すると聞いております。

オペレータークラブは結成後25年が経過しており、後継者作りが必要となっています。新たな人材が入ってくるシステムを確立していかないと先細りになってしまうのではないかと感じています。10年計画が絵に描いた餅にならないように、しっかりと進捗管理を行っていただきたい。

【事務局】

色々な方面でご意見をいただきました。

本年の第1回目につきましては、ご指摘のとおり5月に開催すべきところでありました。遅延してしまったことについて大変申し訳ありません。事業を行う前に会議を実施すべしであったと思っています。また事業の延期や中止についても、判断基準を設けるのは難しく、時々状況で個別の判断となりますが、そういった考え方を皆さんと共有できればと思います。次年度のホール事業についても本日の意見を踏まえて検討を進めていきます。

また、文化芸術推進基本計画の進捗管理については、庁内会議等で進捗管理を図っていきたくと考えています。

ホールの運営形態については、どのような運営形態がよいのか検討を進めて行き、今後、皆様とご相談していきたくと考えています。ホールは、鑑賞を通して様々な刺激を受ける場であるだけでなく、市民の皆さんが活動をする場でもありますので、そういったホール運営を実現できるように検討していきます。

【〇〇副会長】

ライフピアいちじまのホールや春日文化ホールは生涯学習施設であります。市民の方が利用して、芸術活動を通じて心を通わす場がホールであります。私どもオペレータークラブではアマチュアアーティスト育成支援事業に関わっており、この事業は25年間続いています。長期間続いているこの事業を通じて、親子や祖父母と孫といった世代を超えた交流も深まっていると思います。そういった心のふれあいというものをメインとした生涯学習施設としての活用が一番大切だと思っており、私たちもそれを目指して活動しています。今後も20年、30年とこの事業はやっていくべきだと思っていますので、今後とも皆様からのご意見をお願いいたします。

【〇〇委員】

先ほどの映像の話ですが、ホール事業に係るPRに映像を活用していきましょうという話かと思っています。

【〇〇副会長】

今現在は、文化芸術推進基本計画にて作成された映像を流されているだけかと思いますが、ホ

ール事業やA2事業のPRにも活用していただけるよう取り組んでいただきたい。

【〇〇委員】

財政的には、文化の分野は予算カットの対象となりやすいです。そのような中で、安定的にホールを運営していくためには、芸術分野のプロデューサーのような専門性の高い方を館長として10年スパンくらいの長い期間を想定して招くといったような取り組みを始める段階にきているのかなと思います。その先には、財団を組織していくことも考えていくことになるのかなと思います。

また、今あるホールについては今後老朽化が進み、将来的には新しいホールの建設といった計画になっていこうかと思っています。それをどう運営していくかといったことも検討項目となってくることから、そういったことも想定して専門分野に長けた人材を確保していくことが必要になるかと思っています。

豊中市や箕面市には新しい文化ホールが出来ています。そういったホールの運営方法を視察し、丹波市のホール運営を今後どのようにしていくかを検討していくことが必要だと思います。

【〇〇会長】

ありがとうございます。閉会予定時間となっているのですが、他の方、何かございますか。

【〇〇委員】

私は豊岡のひぼこホールで毎年コンサートを開催していたのですが、それが無くなりました。それは、新たな市民会館を作ることになったからなのですが、丹波市には市民会館がありません。養父市にも新しい市民会館ができています。丹波市でも、これから10年先を見据えて、丹波市民が集えるような新たなホールを有する市民会館ができればいいなと思いますし、一方では今あるホールも大切に使いながら、市民が一人でも多く訪れていただけるような環境になればと思います。

【〇〇会長】

ありがとうございました。

次回の日程について、来年3月を予定ということになります。

【事務局】

3月を予定させていただきますが、先ほどありましたホール運営体制について、皆様にお示しできる段階になれば、改めて日程調整をさせていただきます。

5 閉 会 〇〇副会長による閉会のあいさつ